

## アンケート概要

### 【実施要領】

時 期：2010年9月6日～17日  
対 象：愛媛県内在住の個人  
方 法：伊予銀行本支店にて調査票を配布、  
郵送にて回収。無記名方式。  
有効回答：1,000枚配布、548回収  
(有効回答率 54.8%)

### 【回答者属性】

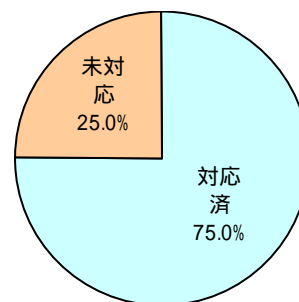
性別	男性 30.1%	女性 69.9%
年齢	30歳未満 16.2% 40代 21.4% 60歳以上 20.8%	30代 24.1% 50代 17.5%
居住地域	東予 28.3% 南予 36.4%	中予 35.3%

## 結果

### (1) 地デジ対応状況

- 各世帯のテレビ保有台数は平均 2.42 台、うち地デジ対応済が 1.37 台、未対応が 1.05 台であった。
- 主に使うテレビ(メインテレビ)に限ると、75.0%が地デジ対応済で、4 台に 1 台は未対応という結果になった。
- 各部屋で使うテレビ(サブテレビ)は、地デジ対応済が世帯平均 0.61 台、未対応が同 0.81 台となった。2 台目以降の地デジ対応は、メインテレビより遅れているようだ。

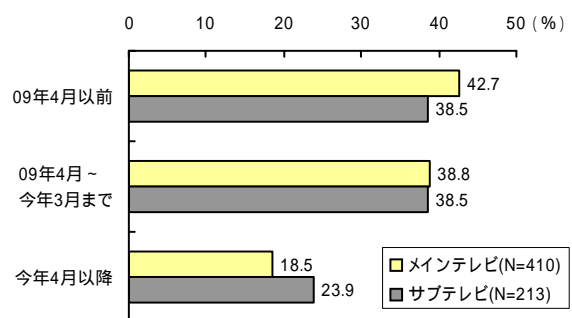
図表-1 メインテレビの地デジ対応状況 (N=547)



### (2) 地デジ対応時期

- メインテレビ、サブテレビとも「09年4月以前」が4割前後と、エコポイント制度開始以前に通常の買い替えサイクルや故障等の理由で買い替えた人が多かったようだ。
- ただし、「09年4月～今年3月まで」も4割弱と、エコポイント効果もあって、1年間で急速に買い替えが進んだと思われる。
- メインテレビ 18.5%、サブテレビは 23.9%が「今年4月以降」と回答した。メインテレビの買い替えが進み、徐々に2台目、3台目の買い替えも進んでいることが見て取れる。

図表-2 地デジ対応予定時期  
(サブテレビのみ複数回答)

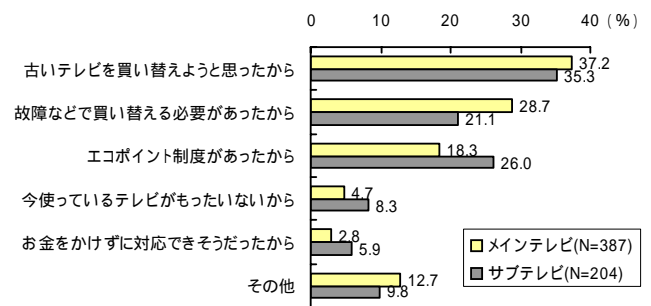


### (3) 地デジに対応しようと思った理由

- ・メインテレビでは「古いテレビを買い替えようと思ったから」(37.2%)、「故障などで買い替える必要があったから」(28.7%)との回答が多かった。
- ・サブテレビはメインテレビ同様に、古いテレビの買い替えという理由が多かったが、次いで「エコポイント制度があったから」(26.0%)が多かった。
- ・メインテレビは必要に応じて買い替える傾向にあるが、サブテレビはエコポイント等の後押しで買い替えたケースも少なくない。

図表-3 地デジ対応しようと思った理由

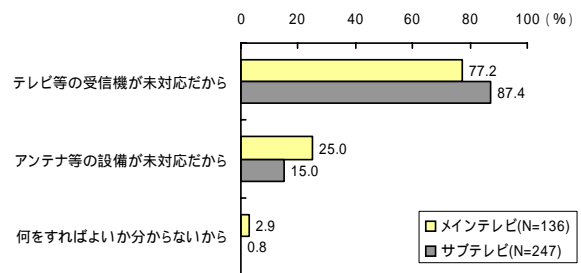
(複数回答)



### (4) 現在地デジが視聴できない理由

- ・現時点で地デジ未対応の人に視聴できない理由を尋ねたところ、メインテレビの約8割、サブテレビの約9割が「テレビ等の受信機が未対応だから」と回答した。
- ・「何をすればよいか分からない」との回答はごく少数であり、地デジ対応方法は広く認知されていることが分かる。

図表-4 地デジが視聴できない理由(複数回答)

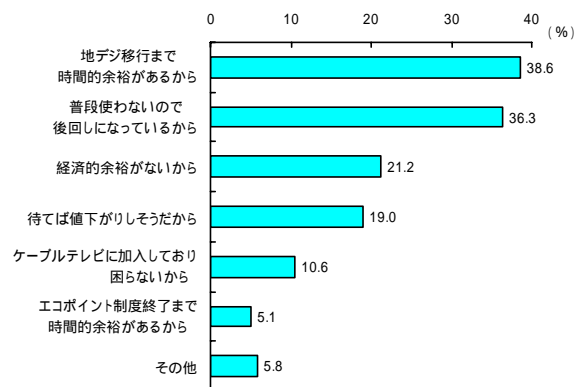


### (5) アナログテレビを買い替えない理由

- ・現在もアナログテレビを利用している人に買い替えない理由を尋ねると、「地デジ移行まで時間的余裕があるから」(38.6%)、「普段使わないので後回しになっているから」(36.3%)との回答が多かった。そのため、地デジ移行の時期が迫れば、駆け込み需要の発生も予想される。
- ・「経済的な余裕がないから」「待てば値下がりしそうだから」との回答を合わせると4割に達し、コスト面で買い替えに二の足を踏んでいる世帯も少なくないようだ。

図表-5 アナログテレビを買い替えない理由

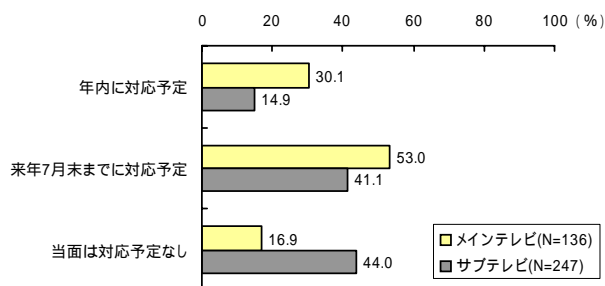
(N=311、複数回答)



### (5) 地デジ対応予定時期

- ・ 現時点で地デジ未対応の人に対応予定時期を尋ねると、メインテレビは約3割が「年内に」、約半数が「来年7月末までに」と回答。完全移行までには何らかの形で対応しようとの姿勢がうかがえる。
- ・ サブテレビは「年内に」「来年7月末までに」との回答を合わせても56.0%と、4割以上は当面对応しない考えである。
- ・ ケーブルテレビ加入者は地デジ移行後もアナログテレビを利用できるため、対応を急がない世帯は想定以上に多かったようだ。
- ・ 地デジ移行後は、アナログテレビを「廃棄する」「ゲーム用、DVD視聴用として使う」との意見もあった。

図表-5 地デジ対応予定時期



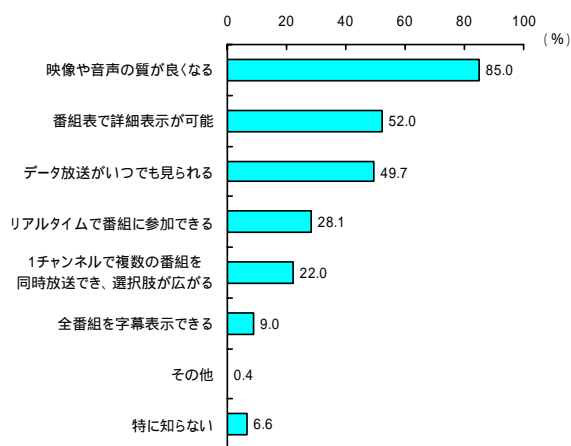
#### 「デジアナ変換サービス」とは？

地デジ完全移行後もデジタル放送をアナログ変換して家庭に送るサービス。期間は2015年3月末までとなっている。全国に先駆けて、今年7月より県内ケーブルテレビ2社（四国中央テレビ・愛媛CATV）が同サービスの提供を開始している。

### (6) 地デジのメリット

- ・ 地デジのメリットで知っていることを尋ねたところ、8割以上が「映像や音声の質が良くなる」、半数が「番組表で詳細表示が可能」「データ放送がいつでも見られる」と回答。実際に利用してみて、そのメリットを実感することが多いようだ。
- ・ しかし、上位3つ以外について認知度は3割に満たず、「特に知らない」という人もわずかにいるのが実状である。
- ・ デジタル放送の魅力を伝えることは、地デジ対応を促すきっかけとなるかもしれない。円滑な地デジ移行を実現するためにも、今後は効果的なPRが重要になってくるだろう。

図表-6 地デジのメリット (N=533、複数回答)



### おわりに

本アンケートの結果から、1台目は地デジ対応が進んでいるものの、2台目以降は対応の遅れもうかがえた。ただ、大半の消費者は地デジの対応方法を認識しており、完全移行までには何らかの形で対応しようと考えている人も多いことから、今後は駆け込み需要の発生も予想される。

需要の集中による混乱を避けるためにも、各世帯が現在の状況を正しく把握し、早めの対応を心掛けることが求められよう。2011年7月24日、円滑な地デジ移行が実現することを期待したい。

(河野 静香)